

## 2019年資源物の戸別収集を開始！ ～家庭ごみ分別の向上と資源化の促進を目指して～

西東京市は、2019年10月から、家庭ごみ分別の向上や資源化の促進のほか、高齢化の進展に伴う排出困難者対策などの市民サービスの向上を図るため、資源物の戸別収集を実施します。

これまで、可燃・不燃ごみ、プラスチック容器包装類の戸別収集を実施するとともに、家庭ごみの有料化、剪定枝回収による資源化の促進、さらには、広報西東京やECO 羅針盤などによる家庭ごみ分別の啓発活動を進めてきました。

こうした取組を進める中で、市民の皆さまの意識の高まりやご協力により、「市民一人一日あたりのごみ排出量」と「リサイクル率」が全国でもトップクラスとなっています。

### 1 資源物の戸別収集のメリット

- メリット1
 高齢者や体の不自由な方が、重い新聞紙や雑誌を集積所まで運ぶ手間がなくなります！
- メリット2
 資源物が出しやすくなり、分別意識が高まり資源化が促進されます！
- メリット3
 排出者責任が明確化されるので不法投棄が減少します！
- メリット4
 路上の収集カゴの飛散がなくなり、強風等による事故が減少します！
- メリット5
 カゴが路上からなくなるので、まちの美観が良くなります！
- メリット6
 集積所使用に伴う清掃や使い方など近隣トラブルが減少します！



2 開始時期 2019年10月予定

3 予算額 373,601千円（リサイクル推進事業費、資源収集委託料）  
 （びん、缶、ペットボトル、古紙・古布類、金属類、小型家電、廃食用油の収集委託料）

【問い合わせ先】 みどり環境部 ごみ減量推進課（TEL：042-438-4043）

### 資料のポイント

○一人一日あたりのごみ排出量：

一般廃棄物（可燃ごみ、不燃ごみ、資源物、事業系可燃ごみ等）

（グラム/人日）

	2015年度 （平成26年度）	2016年度 （平成27年度）	2017年度 （平成28年度）
全国平均	963.0	954.0	942.0
西東京市	714.5 （日本全国中 第8位）	703.4 （日本全国中 第7位）	687.2 （日本全国中 第6位）

<日本全国中の順位は人口10万人以上50万人未満の市町村内での順位>

<出展> 環境省 日本の廃棄物処理

○リサイクル率：資源物排出量÷ごみ排出量

	2015年度 （平成26年度）	2016年度 （平成27年度）	2017年度 （平成28年度）
全国平均	20.6 %	20.4 %	20.3 %
西東京市	35.1 % （日本全国中 第9位）	34.7 % （日本全国中 第9位）	34.6 % （日本全国中 第10位）

<日本全国中の順位は人口10万人以上50万人未満の市町村内での順位>

<出展> 環境省 日本の廃棄物処理